

第3回仙台市健やかな体の育成プラン検討委員会議事録

- 1 日 時 令和5年10月16日(月)
午後6時00分開会
午後7時40分閉会
- 2 場 所 仙台市役所 上杉分庁舎12階 教育局第1会議室
- 3 出席委員 黒川修行委員長、菅野拓生副委員長、赤間早苗委員、太田博文委員、齋藤ミユキ委員、佐藤直美委員、丹野久美子委員、平田政嗣委員、藤原幾磨委員、三浦方も委員
- 4 事務局職員 渋谷総務企画部長、加藤健康教育課長、五十嵐健康教育課主幹兼主任指導主事、佐々木保健体育係長、丸山給食事業係長、菅原指導主事、佐藤指導主事、門脇指導主事、船山指導主事、近藤指導主事

5 配付資料

- 資料1 「仙台市健やかな体の育成プラン2024」中間案
資料2 「仙台市健やかな体の育成プラン2024」中間案(概要版)

6 会議の次第

- 1 開会
- 2 議事
- 3 閉会

7 議事の概要

(1) 「仙台市健やかな体の育成プラン2024」中間案について

- 委員長 事務局より説明願いたい。
- 事務局 -資料1、資料2に基づき説明-
- 委員長 次期プランの中間案等について、事務局からの説明内容に質問はないか。
- 委員長 「第4章 基本的な方向性」の「5 健やかな体を目指した健康サイクル」について、作成時参考にしたものはあるか。
- 事務局 健康習慣に関する資料を参照しつつ、独自に作成した。
- 三浦委員 「第5章 今後5年間に推進する施策と具体的な取組」の「1 目標達成のための6つの施策と取組」のうち「(5) 運動環境づくりの推進」に係る他部局の事業(「関連事業一覧」掲載)として、「子ども向けスポーツ教室・イベントの開催」や「市民の健康を支える公園づくり・公園マネジメントの推進」等があるが、どういう形で市民に発信されていくのか。
- 事務局 協議結果が成果物としてプランの冊子となって周知された後、次の段階として具体的に活用するためには、運動機会や運動場所等の提示があったほうが行動にうつしやすい。本プランには、他部局の事業内容の詳細が盛り込まれているのか。また、このプランの冊子は教員宛に配付するのか、それとも学校を通じて保護者にも届くものなのか。
- 事務局 本プランは、仙台市の現状や施策の方向性等を示すものであるため、事業内容の詳細まで記載する予定はないが、各事業の取組の中で周知の仕方などについて検討してまいりたい。今後作成する冊子は主に学校に配付し、同資料のPDFをホームページに掲載したものを市民の皆様に見ていただく。
- 藤原委員 関連事業は、今すでに実施しているのか、それとも、今後新たに行うものか教えてほしい。
- 事務局 他部局に本プランに関連する事業について照会する際、本プランが令和6年度から実施するものとして示しているため、中には実施予定のものがあるかもしれないが、基本的には現行で取り組んでいるものと見ている。
- 藤原委員 「第4章 基本的な方向性」の「5 健やかな体を目指した健康サイクル」について、分かりやすくして良い。ただし、「家庭」の部分について、緑地に赤字が重なっており、色覚異常の方にとっては見にくいのではないかと。重なる部分を白抜きにする等の工夫があるとなお良い。

太田委員	<p>プラン全体がすっきりしており、見やすくなった。「第4章 基本的な方向性」の「1 目指す児童生徒の姿」には「進んで運動」と記載されているが、「5 健やかな体を目指した健康サイクル」には、修正前の「たっぶり運動」となっているため、あわせたいほうが良い。また、「3 習慣ごとの目標及び重点項目と指標」の生活習慣「③望ましい生活を実践する児童生徒の増加」の下部括弧内「同じくらいの時間に寝て、同じくらいの時間に起きる」について、具体的な睡眠時間の目安が発達段階に応じて示されると、学校も保護者も子供たちに声をかけやすい。</p>
事務局	<p>発達段階に応じた望ましい睡眠時間については、文献によって様々であり、具体的に示すことが難しいが、検討したい。</p>
佐藤委員	<p>保護者向けに、子供の生活の様子に関するワードや投げかけを記載したパンフレットやチラシ等があると、我が事としてとらえることができると思う。</p> <p>「第4章 基本的な方向性」の「5 健やかな体を目指した健康サイクル」のイメージ図は、子供たちが見ても分かりやすいと感じた。文言について、小学生にも伝わりやすい表現であるとさらに良い。同章の「7 発達段階に応じて定着させたい具体的な姿 2024」の表については、校種の垣根を超えた4年ごとの区切りになっており、我が子の成長と照らし合わせてみても、適した区分けになっているように感じた。また、小学校から高等学校までの12年間の目指す姿を示しているため、子供たちが今後どのように成長していくか見通しを持つことができると思う。</p>
委員長	<p>保護者だけではなく、子供たちも先を見通せることで、今の目標とあわせて将来の目標を見据えることができる。</p>
齋藤委員	<p>「第4章 基本的な方向性」の「4 『食事』『運動』『睡眠』の意味」について、今までの流れを見ると唐突に出てきたように思う。主旨を説明願いたい。</p>
事務局	<p>「3 習慣ごとの目標及び重点項目と指標」の各習慣の重点項目①②③は、それぞれ「関心・理解・実践」を意味しており、まず関心を持ち、大切さを理解した上で自ら実践するという流れとしている。そこで、理解すべきことについて、改めてこの項目で説明している。</p>
齋藤委員	<p>説明がないと分かりにくいかもしれない。</p>
平田委員	<p>全体的に分かりやすく見やすい資料になっており、非常に良いと思った。ただし、小学校については、幼稚園・保育所からシームレスに繋がっている部分があると考えている。「第4章 基本的な方向性」の「7 発達段階に応じて定着させたい具体的な姿 2024」について、4年ごとに区切ることはわかりやすいが、小学校よりも下の年齢からグラデーションのようにうつっていると認識できるものだとさらに良いのではないかと。</p> <p>「第5章 今後5年間に推進する施策と具体的な取組」の「1 目標達成のための6つの施策と取組」のうち「(3) 健康教育の充実と普及・啓発」に関して、このプランを効果的に運用していくためには、児童生徒向けのリーフレットや教材が必要だと思う。実際に作成する際、どれくらいの内容を盛り込むのか、また、どのような計画で進めようとしているのか、さらには紙媒体なのかICTを活用するのかなどの詳細についてお聞きしたい。</p>
事務局	<p>具体的な中身や計画については、現在検討中である。例年、未就学児用として「元気な一年生になるために」というリーフレットを作成し配付しており、それを参考にする予定である。様々な媒体での発信が想定されるが、児童生徒が手に取って分かりやすい、また保護者が使いやすいといった観点も視野に検討したい。</p>
委員長	<p>ここで全ての委員から順番にご意見をいただきたい。</p>
赤間委員	<p>コロナ禍で久しく開催がなかった給食の試食会を9月に実施した際、保護者の事後アンケートに、とても有意義だったと言う声が多く寄せられた。栄養教諭の講話を聞くことができ、食への関心を高められる良い機会だった。今後も試食会や親子食育講座などの取組が増えると良い。</p> <p>「第5章 今後5年間に推進する施策と具体的な取組」の「2 主要な取組のねらい・実施内容・実施計画」のうち「(1) 児童生徒の健康状況の把握と活用」の「仙台市スポーツ推進委員の派遣等による体力・運動能力調査の測定支援」は、人数の多い学校にとっては大変ありがたい取組である。スポーツテストの実施時期は集中しやすいが、希望する学校全てに派遣してもらえるのか</p>

	<p>教えてほしい。</p> <p>令和5年度は10数校の申し込みがあり、各区の推進委員会の方に協力いただき、全てに派遣することができた。</p>
事務局	
太田委員	<p>資料が大変見やすく、インパクトもあり良い。</p> <p>指標として、コロナ禍前に戻すという共通認識を持つことで、具体的に動き出しやすくなると感じた。</p> <p>「第5章 今後5年間に推進する施策と具体的な取組」の「1 目標達成のための6つの施策と取組」のうち「(1) 児童生徒の健康実態の把握と活用」に「保護者を対象にした『児童生徒を対象にしたアンケート調査』の実施」とあるが、抽出調査なのか全数調査なのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>現在実施している「健康に関する調査」が学年ごとの抽出調査であることを鑑みると、集計作業にかかる負担等も考慮し、抽出での調査をベースに検討している。</p>
太田委員	<p>教育相談課で実施しているいじめアンケートは、PCを用いて全保護者を対象に行っていた。質問項目を絞る等工夫し、同様の形で実施することができれば、データとしての信憑性が高まると思う。</p>
事務局	<p>教育相談課から情報を得ながら検討する。</p>
齋藤委員	<p>具体的な取組や動きが見えてきて、とても嬉しく感じた。多くの方が視覚的に分かりやすいように、資料の見やすさを心がけてほしい。</p> <p>アンケート等を用いて調査結果を個人にフィードバックすることで、子供たちが主体的に取り組めるようになると思う。</p>
佐藤委員	<p>非常に見やすい資料で、スムーズに読み進めることができた。</p> <p>「第3章 『プラン2017』の取組状況と課題」の「3 生活習慣について」のうち「(2) 生活習慣に係る施策の取組状況」に出てくる「思春期教育や薬物乱用防止に係る講師紹介を行い、専門家による効果的な取組を行っています」について、保護者が授業内容を全く知らないというのが現状である。中学1年生の学校運営協議会にて、保健師を講師として招いた思春期教育を参観した際、性に関する具体的な内容を扱っていたことに驚いた。子供がすでに知識を得ているにも関わらず、親がごまかすような態度をとってしまうことで、親子の信頼関係を崩しかねない。アプリなどを通じて保護者に授業内容を共有し、学校と保護者の連携を図っていくことが必要だと思う。</p> <p>「第4章 基本的な方向性」の「7 発達段階に応じて定着させたい具体的な姿2024」の中学校3年生から高等学校の区分の中で、「運動や体力の必要性を理解し、自分に合った運動やスポーツに取り組む」ということについて、もっと体を動かしたいけれど、自分に適した運動機会や場所を見つけられず、結局家で過ごすしかない子供たちがいる。そういう我が子の姿を見て、もどかしい感情を抱えている保護者がいることを知っていてほしい。</p>
三浦委員	<p>「バランスよく食べて、進んで運動し、ぐっすり眠る」という姿を目指すために、裏付けとなるデータや細かな調査をとりまとめていただき、非常に見やすい資料になっていた。健康への意識を高め、具体的な行動に移すことができるようにしていきたい。</p>
藤原委員	<p>運動が好きな子や運動部に入っている子よりも、運動が好きではない子に対するアプローチが必要だと思う。患者として診ている肥満の子は、ほとんどが運動部に所属しておらず、運動が好きではない子ばかりである。「第5章 今後5年間に推進する施策と具体的な取組」の「2 主要な取組のねらい・実施内容・実施計画」のうち「(5) 運動環境づくりの推進」に「運動の日常化を図るためのアイデアの提案」について示されているが、アイデアの提案にとどまらず、実施の進捗を確認したり、内容を強化させたりすることで、運動が苦手な子たちにも実践を促してほしい。</p> <p>佐藤委員から意見があった思春期教育について、仙台市では小学校4年生から実施しているという認識で間違いないか。</p>
委員長	<p>小学校4年生から教科書に組み込まれている。</p>

藤原委員 昨今は、コロナ禍の影響もあり全世界的に思春期が早まってきている。早期の体の変化に悩み、外来に来る子供も少なくない。様々な取組の適切な実施時期について、子供たちの現状を踏まえて検討していただきたい。

平田委員 歯と口に関する取組についても取り上げていただき、非常に嬉しい。「第5章 今後5年間に推進する施策と具体的な取組」の「2 主要な取組のねらい・実施内容・実施計画」のうち「(2) 学校・家庭・地域・関係機関との連携・協働」の中に「歯と口の健康に関する取組の推進」として、歯科検診の活用について触れているが、虫歯の有無や数は家庭環境に左右されやすい。デリケートな部分ではあるが、取り組むべき内容の一つだと考えている。一方で歯肉炎は、適切に歯磨きをしたり、食生活を含めた生活習慣を見直したりすることで、改善できるものである。努力次第で治ることを実感する中で、子供たちの健康に対する姿勢や行動が変わっていくと思う。

いずれも学校教育だけでは対応しきれない部分があるため、関連事業として他部局と共同することで、より有機的なものとして機能していくのではないかと。

丹野委員 「第4章 基本的な方向性」の「7 発達段階に応じて定着させたい具体的な姿2024」の「食習慣」に係る部分に、「楽しく食べる」という文言がある。食育において非常に重要なことだが、具体的に誰が何をすると楽しく食べることができるのか、行動への落とし込みが難しいと思った。学校では給食内容の工夫や先生方による促しによって「楽しく食べる」ことを考慮しているが、家庭では保護者へのプレッシャーになるのではないかと。家庭においては、子供たちが主体的に関わることができるように、栄養教諭や医療職員を通じて子供でも作れるレシピや献立等の情報を発信し、子供自身が買い物や料理をするところまでいけたらいいと思う。また、仙台市の学校給食は、単独調理校方式と学校給食センター方式の2種類がある。自分の学校とは違うレシピや献立を共有することができれば面白いのではないかと。

副委員長 資料の中で何度か目にした「スクリーンタイムを減らす」という文言について、学校現場ではICT機器活用の充実やGIGAスクール構想の推進が謳われている中で、相反することを提唱しているのではないだろうか。この文言が本当の意味を見出していくためには、まだまだ審議が足りず、迂闊に使うことができない表現だと思っている。子供たちの今後の学習環境の方向性と、「スクリーンタイムを減らす」こととの整合性を持たせる必要がある。

委員長 今回のプランの取組の中で、様々な調査やアンケート等を行う計画になっているが、そこで得た成果が、さらに次のプランを策定するときの根拠となるものにできればいいのではないかと。睡眠時間一つとっても、文献や研究を見たところから分からないことが多い。今回策定するプランを通じて、新たに得た結果や分かったことを次期プランの指標の根拠にすることができればと思う。

8 その他

委員長 本日の議事は以上で終了とさせていただきます。次回は「パブリックコメントの結果を踏まえた最終案の検討」等が議事となる予定です。

事務局 本日以降も気付いた点や意見、質問、必要な資料があれば、お知らせ願いたい。また、次の開催は年明け1月中旬を予定している。後日、別途日程調整の依頼をさせていただきます。

以上

令和5年〇月〇日

署名委員 仙台市健やかな体の育成プラン検討委員会委員長

仙台市健やかな体の育成プラン検討委員会委員

黒川 修行

菅野 拓生